

その他の医療機関（病院）の具体的対応方針（令和５年度病院プロフィールシートの記載内容を基に県が作成）

病 院 名	構想区域	医療機能別病床数							対応方針の検証状況 (R5. 7. 2～R7. 7. 1の取組)					診療科・ 主な紹介元/紹介先	現状・未来像
			合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 棟 中	再編・ 統合	減床	転換	調整中	見直し なし		
外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院	青森地域	R5. 7. 1	44	0	0	28	0	16	(R5. 7. 2～R7. 7. 1の取組)					<p>【診療科】 内科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科</p> <p>【紹介元】 今別診療所、三厩診療所、田澤内科、かにたクリニック</p> <p>【紹介先】 青森県立中央病院、青森市民病院、青森新都市病院</p>	<p>【現状】 これまで救急告示病院として二次救急医療を担い、月15件程度の救急搬送患者を受入れ、救急医療を提供してきたが、令和５年度から常勤勤務医が半減したことにより、救急医療提供体制を維持することが困難となり、やむを得ず救急医療を休止し、16床を休床させている。</p> <p>【未来像】 令和７年までは44床を維持するとともに、基幹病院等に対して医師派遣を依頼し、救急医療提供の再開に向け努めていく。医療機能を全て回復期として報告しているが、将来の回復期医療需要の増加見込みを踏まえ、今後も維持継続する。</p>
		R7. 7. 1	44	0	0	28	0	16					○		
国立療養所松丘保養園	青森地域	R5. 7. 1	5	0	0	0	5	0	(R5. 7. 2～R7. 7. 1の取組)					<p>【診療科】 内科、外科、眼科、耳鼻科、皮膚科、歯科</p> <p>【紹介元】</p> <p>【紹介先】</p>	<p>【現状】 従来よりハンセン病医療を担ってきており、治療により治癒した後も末梢神経障害、視覚障害などのハンセン病後遺症による機能障害に加えて、加齢による全身の合併症を持つ高齢の患者に対する医療を提供しているため、積極的な患者の受け入れは行っていない。</p> <p>【未来像】 特殊性も鑑み、現時点での病床規模の見直しは考えていない。</p>
		R7. 7. 1	5	0	0	0	5	0					○		
独立行政法人国立病院機構青森病院	青森地域	R5. 7. 1	300	0	0	0	300	0	(R5. 7. 2～R7. 7. 1の取組)					<p>【診療科】 内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科</p> <p>【紹介元】 大竹整形外科、弘前大学医学部附属病院、青森市立浪岡病院</p> <p>【紹介先】 大竹整形外科、弘前大学医学部附属病院、青森市立浪岡病院</p>	<p>【現状】 重症心身障害、筋ジストロフィー、神経難病、結核の政策医療を担っている。一般診療に関しては、地域の実施設と連携していると考えている。</p> <p>【未来像】 結核病棟は、４０年以上経過し病棟の改修が必要な状況である。結核診療はもちろんのこと、今後、新興感染症（呼吸器感染症）に関する有事の際にも柔軟に対応可能な診療体制を構築すべく、青森県医療審議会や医師会に相談しながら、将来の方向性について検討しているところである。</p>
		R7. 7. 1	300	0	0	0	300	0					○		

